

注 意 報

各関係機関の長 殿

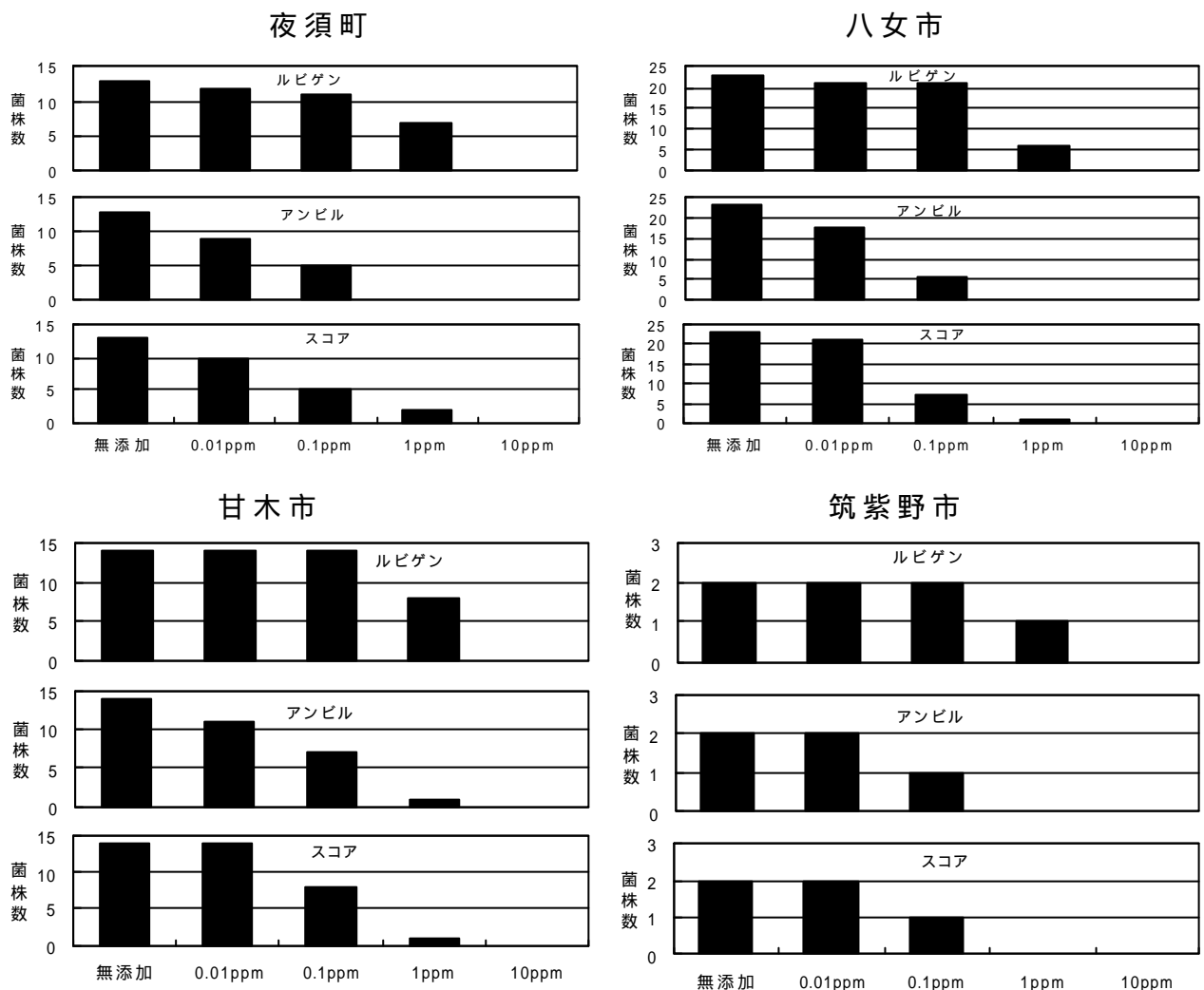
福岡県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報の送付について

このことについて、病虫害発生予察注意報第2号を発表したので送付します。

平成14年度病虫害発生予察注意報第2号

- 1 対象作物 ナシ
- 2 病虫害名 黒星病
- 3 発生地域 県内全域（特に中山間地の一部地域）
- 4 発生程度 多
- 5 注意報の内容
 - (1) 各地で発生が多く、特に中山間地域のナシ園で発生が多い。今後降雨が続くと胞子の飛散が盛んとなり、被害が多発する恐れがある。
- 6 注意報発令の根拠
 - (1) 5月2半旬の定期調査では、発病葉率1.1%（平年：0.3%、前年：0.5%）、発病果率2.0%（平年：0.8%、前年：0.3%）と多く、特に中山間地での発生が多かった。これは、4月から5月上旬にかけて降雨日数が多い。特に5月上旬は、ほぼ連日の降雨で、降雨量も平年の3倍以上で、発生が助長されたためと思われる。
 - (2) 5月10日福岡管区气象台発表の1ヵ月予報によると、気温は平年並かやや高く、降水量は平年並が多く、天気がぐずつく時期があると予想されている。
- 7 防除上注意すべき事項
 - (1) 発病葉や果実はできる限り取り除き、焼却または埋没する。
 - (2) 薬剤耐性菌の出現をさけるため、同一系統薬剤の連用散布をさける。
 - (3) ルビゲン水和剤は薬剤感受性がやや低下している傾向がみられ、このように、効果が劣る場合は他の薬剤を使用する（第1図）。
 - (4) 薬剤は第1表を参照し、農薬安全使用基準（収穫前日数・使用回数）を遵守する。



第1図 ナシ黒星病菌の各種薬剤に対する感受性(2001年)
(無添加の菌系生育に対し、その1/2以上の生育がみられた菌株数)

第1表 黒星病防除薬剤一覧表

系統	薬剤名	濃度	使用基準		備考
			収穫前日数	回数	
EBI	トリフミン水和剤	2,000	前日	3	
	アンビルフロアブル	1,000	7	3	
	インタ-フロアブル	8,000	7	3	
	スコア水和剤10	4,000	14	3	2000倍で輪紋病にも効果
	ラリ-水和剤	3,000	14	3	
	ルビゲン水和剤	3,000	21	3	
	ハ-イコラル水和剤	2,500	30	3	1500倍で輪紋病にも効果
	スペックス水和剤	600	45	3	
	ブル-ク水和剤	800	45	3	
有機硫黄	ユニックスZ水和剤	500	45	3	
銅	キノト-フロアブル	1,000	3	9	輪紋病にも効果
	オキシラン水和剤	500	7	9	輪紋病にも効果
その他	ヘルコート水和剤	1,000	14	4	輪紋病にも効果
	ユニックス果粒水和剤47	2,000	21	3	
	ヘルクガード水和剤	500~1,000	45	4	輪紋病にも効果
	テランフロアブル	1,000	60	4	輪紋病にも効果